

# 一人暮らし高齢者 900万人へ

**2040年推計 全世帯の17%に**

一人暮らしをする65歳以上の高齢者が2040年に896万3千人となり、15年より43・4%増える。全世帯に対する割合は17・7%。全国最多の東京では16万7千人と、65歳以上人口の約3割にのぼる。背景には未婚や離婚などの増加があるという。国立社会保障・人口問題研究所が19日、世帯数に関する推計を公表した。

一人暮らしの高齢者は家族によるサポートを受けづらい場合もあるため、体の衰えや認知症などに伴う介護サービス、買い物や通院といった日常生活の支援への需要は高まる可能性があり方を検討し、整えること

る。現在でも深刻な介護人材の不足に拍車がかかることが想定され、国や自治体の財政の圧迫にもつながりかねない。高齢者を支えるための地域や制度のあり方を検討し、整えること

都道府県別の人一人暮らし高齢者数	2040年の推計人數(万人)	15年比増加率
北海道	42.9	32.1%
青森	8.1	26.6
岩手	7.5	36.7
宮城	14.9	59.6
秋田	6.2	22.5
山形	5.5	44.7
福島	11.8	42.8
茨城	17.1	59.7
栃木	11.0	52.5
群馬	12.4	47.7
埼玉	48.1	67.5
千葉	43.3	57.0
東京	116.7	47.0
神奈川	67.6	63.7
新潟	12.8	50.4
富山	5.8	40.3
石川	7.1	43.3
福井	4.3	49.2
長野	5.6	43.2
岐阜	12.8	45.2
愛知	11.2	47.2
三重	22.6	55.1
滋賀	47.7	59.3
京都	11.4	38.4
大阪	8.0	70.6
兵庫	20.2	34.9
奈良	73.4	32.7
和歌	43.1	42.7
鳥取	8.5	37.3
島根	6.9	14.4
岡山	3.3	29.8
広島	4.0	19.2
福山	12.4	31.8
呉	20.2	32.0
沖縄	9.9	11.3
鹿児島	5.0	21.0
鹿児島	6.7	27.5
鹿児島	10.6	20.8
鹿児島	5.9	6.3
鹿児島	38.8	41.0
鹿児島	4.5	39.2
鹿児島	9.4	22.8
鹿児島	11.3	31.2
鹿児島	8.0	22.0
鹿児島	8.1	24.1
鹿児島	13.6	16.9
鹿児島	10.4	90.4
鹿児島	896.3	43.4

り親と子」「その他」の5類型で推計した。

40年の全世帯数は15年より4・8%減の5075万7千世帯となる。このうち

一人暮らしが39・3%で最も多く、夫婦と子23・3%

%、夫婦のみ21・1%、ひ

とり親と子9・7%、その

他6・6%と続く。

全世帯のうち高齢者が世

帯主の高齢者世帯は8・2

倍増の44・2%。都道府県

別では、東京と愛知を除く45道府県で4割を超える、秋田や青森など10県で5割超となる。高齢者世帯のうちの40・0%。全都道府県で3割を超え、東京や大阪など15都道府県では4割を上回る。

65歳以上人口に占める一人暮らしの割合は4・4倍増の22・9%。東京(29・2%)が最も高く、大阪(27・7%)、鹿児島(26・8%)と続く。また、75歳以上人口に占める一人暮らしの割合も2・3倍増えて22・9%となる見通しだ。

同研究所の小池司朗・人口構造研究部長は、一人暮らしのお年寄りが増えることについて「介護や地域の見守りなどのニーズがますます高まる。高齢者を社会的に孤立させないための支援策を考える必要がある」と指摘する。(山本泰介)

見守りなどのニーズがますます高まる。高齢者を社会的に孤立させないための支援策を考える必要がある」と指摘する。(山本泰介)